

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
中2	数学	中学数学2	これからの数学2	STEP 演習 中学数学2 ・完成ノート

1. 授業のねらい

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立2元1次方程式について理解し、用いる能力を培う。また、連立方程式を利用して問題を解決することができるようにする。
- (2) 具体的な事象から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、1次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (3) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験の活動を通して理解を深めるとともに、平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (4) 平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (5) 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
- (6) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。
- (7) 文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。

2. 授業のすすめ方

- (1) 毎時間、復習のための確認テスト(5点/3分間)を実施します。
- (2) 教科書『これからの数学』(数研出版)を使用して授業を進めます。
- (3) 補助プリント・小テスト等を利用して、理解の定着と反復練習を図ります。
- (4) 授業中に問題集を扱う場合は、完成ノートを使用します。
- (5) 発展的な問題はグループワークで取り組む場合もあります。
- (6) 電子黒板を利用し、図形等の視覚的な理解を深め、知識の定着を図ります。

3. 学習上の留意点

- (1) 授業の内容がしっかりと確認できるノート作りをすること。
- (2) わからないことはそのままにせず、必ず質問をして、1回1回の内容を理解してから先に進むこと。理解度に応じて、スタディサブリを予習復習に活用する。
- (3) 副教材の問題集『STEP 演習』は、おもに家庭での学習用なので、できるだけ学習したその日に家庭で該当部分の問題を解いておくこと。
- (4) 各種テストで間違えた問題は、必ず反復して復習し、自分のものにしておくこと。

4. 副教材・参考文献

- (1) 副教材として、問題集『STEP 演習』・『STEP 演習 完成ノート』(数研出版)を使用します。

5. 評価方法

- (1) 定期考査の得点を7割、平常点を3割として、学期の評価(10段階)をつけます。
- (2) 定期考査は、中間考査100点、期末考査100点で実施します。ただし、第3学期は期末考査のみです。
- (3) 定期考査の結果をもとに、観点別評価をつけます。
- (4) 平常点は、以下のものを参考に評価します。
 - ・授業中の様子
 - ・『毎時間の確認テスト』、『実力テスト』など各種テストの点数
 - ・『授業ノート』、『問題集ノート』、『完成ノート(書き込み式)』及び『各長期休暇中の課題』の提出状況

6. 定期考査

- (1) 教科書と問題集に基づいて出題する。
- (2) 各定期考査の範囲(予定)
 - 1 学期中間考査：式の計算、連立方程式
 - 1 学期期末考査：連立方程式、1次関数
 - 2 学期中間考査：図形の性質と合同
 - 2 学期期末考査：三角形と四角形、データの活用
 - 3 学期期末考査：確率、式の計算

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【これからの数学2】	定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法，減法および単項式の乗法，除法の計算ができるようにする。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解する。 ・目的に応じて式を変形することができるようにする。
	5	第1章 式の計算 1 式の計算 2 文字式の利用	授業態度 各種提出物 毎時間の確認テスト	
	6	第2章 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用	実力テスト	
二学期	9	第4章 図形の性質と合同 1 平行線と角 2 三角形の合同	定期考査 授業態度 各種提出物 毎時間の確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確かめ説明する。 ・平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして，多角形の角についての性質が見いだせることを知る。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解する。 ・三角形の合同条件などをもとにして，三角形の基本的な性質を論理的に確かめたり，図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりする。 ・四分位数，箱ひげ図を理解し，それらを用いてデータの分布のようすを視覚的に把握することができる。
	10	3 証明		
	11	第5章 三角形と四角形 1 三角形 2 四角形	実力テスト	
三学期	1	第7章 確率 1 確率	定期考査 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の必要性と意味を理解し，簡単な場合について確率を求める。 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ説明する。 ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をする。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をする。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明する。
	2	【これからの数学3】	各種提出物	
	3	第1章 式の計算 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用	毎時間の確認テスト	